

2021年度（2021年4月1日から2022年3月末日まで）のFD宣言に対する公表KPI

1. 早期更改率

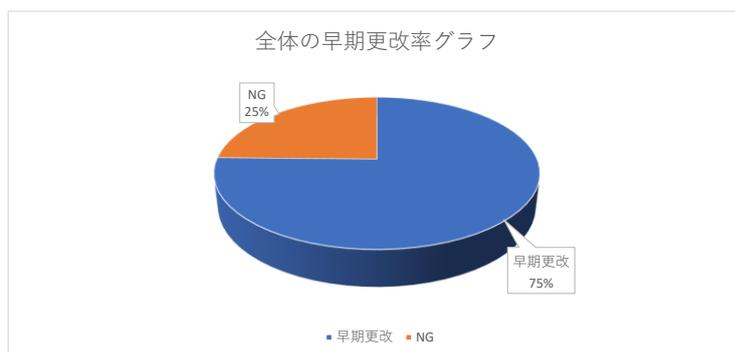
早期更改率については、損害保険の分野を対象として算出しました。また、損害保険会社の商品であっても、医療保険などは対象外としています。
※損害保険は基本的に更新の周期が1年のものが多く、早期更改の重要性が指摘されていますが、生命保険については、10年に一度の更新や更新がないもの（=終身保険）がほとんどであるため、取得していない。

尚、早期更改の定義の仕方は保険会社によって時期が1ヶ月前、2週間前といったものがありますが、当社では以下を早期更改達成の定義としました。
「保険終期より15日前までに更新の申し込みを完了できたもの」

早期更改率－保険会社別

分類	区分	早期更改	分母	早期更改率
全体	全体	1,169	1,552	75.3%
保険会社別	AIG損害保険	939	1,200	78.3%
保険会社別	東京海上日動火災	87	119	73.1%
保険会社別	損保ジャパン	118	203	58.1%
保険会社別	三井住友海上火災保険	25	30	83.3%

※分母は2021/4/1～2022/3/31の保険終期であった契約全件。



(参考) 早期更改率－AIG損害保険分の保険種類別

保険種類	早期更改	分母	早期更改率
全体	939	1,200	78.3%
自動車保険	311	355	87.6%
火災保険	126	159	79.2%
傷害保険	102	158	64.6%
賠償責任保険等	80	112	71.4%

振り返り

全体の早期更改率は75%程度でした。75%という数字は他代理店などと比較して、決して低い値ではないと思われませんが、目標は100%に近づけていくことですので、もう少し改善していく必要があると認識しています。

要因としては、特に決算書が必要となる傷害保険や賠償責任保険等の保険について、早期更改率がどうしても落ちていますので、ご案内を早めに行うなどの対応を進めて、改善してまいりたいと思います。

2. 必須研修受講率

2021年度の必須研修については、代申会社であるAIG損害保険株式会社と大同生命保険会社について、従業員全員必須研修を受講しました。

他の保険会社につきましても、必要である必須研修については、対象者全員受講完了しています。

～次ページに続く～

3. その他

公表がお客様の利益に資すると考えられる内容でしたので、以下を公表します。これらは2022/3/31時点における保有契約の割合となります。

(参考) 3-1.法人個人の割合

区分	契約件数割合	保険料割合
法人	45.5%	81.6%
個人事業主	6.8%	4.1%
個人	47.7%	14.3%

※各区分は契約名義が法人か個人かで集計。個人契約のうち、法人内個人（社長、役員様、従業員様）の保険が8割程度のため、実質は事業に関する保険がほとんどという結果となります。

